

発行所

一般社団法人 埼玉県電業協会
〒336-0031 さいたま市南区
鹿手袋4-1-7(建産連会館内)
TEL 048(864)0385
URL <http://www.saidenkyo.jp/>
E-Mail kyokai@saidenkyo.jp

彩の耀

さいのかがやき

第184号

平成30年7月30日発行

発行人 岡村一巳

編集人 広報委員会

(委員長 矢嶋博和)

編集 日本工業経済新聞社
(埼玉建設新聞)

「生産性向上に知恵を」平成30年度定時総会を開催



岡村会長

平成30年度定時総会を5月25日にさいたま市中央区のホテルプリランテ武蔵野で開催しました。任期満了に伴う役員改選で岡村会長を再任。2期目続投を決めました。重層構造のこの業界でどうすれば各階層のワークライフバランスを取り生産性を向上できるのか、働き方改革への具体的な対策として雇用環境の改善に取り組んでまい

ます。

岡村会長は「私ども地域の建設業の一翼を担う協会として、社会への会員企業それぞれの役割といえば、雇用を守り、納税し、価値を創造することであり、社会的合理性が大切です。働き方改革が叫ばれていますが総論では大賛成です。本年度、県は5回のハッピーサタデーを設け、現場休工日を推奨するようです。私たちもその考えに同調してまずは休んでみて、問題点を見付け修正する。この繰り返しができればと思っています」とあいさつしました。

引き続き共同購買事業において実績を上げた南部支部をたたえ、岡村会長から内山支部長に報奨金が贈られました。

議事では会務報告、収入・支出決算、定款変更、役員改選について審議したほか、事業計画、収入・支出予算の報告があり、全議案を原案どおり承認しました。このうち定款については幹部の世代交代を見据え、これまで3人以内であった副会長職を4人以内に変更しました。

事業計画によると、昨年度から始めた『県内電気設備業の経営および従事者の実態等に関するアンケート調査』を継続。長期間雇用実態を把握することで環境の改善に生かす資料として運用します。このほか熊本地震復興支援として同県の視察、各種技能講習、工業高等学校電気科授業での業界説明、企業対策セミナー、イノベーションセミナーなど幅広く事業を展開する方針です。



来賓多数を招き総会後の懇親会で親睦を深めた

総会終了後の懇親会では、多くの来賓を招き新体制での門出を祝い親睦を深め合ったほか、恒例の優良従業員表彰も行われました。栄えある受賞者は次のとおりです。(敬称略)

平成30年度優良従業員表彰受賞者名簿

(永年勤続者部門勤続20年以上) 16名

会 員 名	被表彰者名
(株)イトラスト埼玉	田村 健太郎
(株)岡村電機	秋池 秀和
(株)おぎでん	田 陽幸宏
熊谷電機(株)	山田 祥男
佐野電機(株)	木村 康平
三位電気(株)	三浦 康博
(株)関根電気商会	保積 政宏
(株)積田電業社	前島 祥孝
(株)電成社	小山 幸男
(株)東電工業社	小林 順
中村電設工業(株)	塚原 苗美
ニチデン技術サービス(株)	小辻 直人
(株)万代電気工業	松沢 友幸
(株)北産電設	金子 令
(株)八洲電業社	阿部 耕平
(株)ヤマト・イズミテクノス	篠崎 浩

(永年勤続者部門勤続10年以上) 19名

会 員 名	被表彰者名
(株)イトラスト埼玉	鯨井 陽子
浦和電気工事(株)	小 俣 和也
(株)エコー	廣瀬 重義
佐野電機(株)	奥野 満
三位電気(株)	矢作 泰宏
(株)関根電気商会	田中 康敦
(株)大広電気	関 涼太
高山電設工業(株)	志賀 将明
(株)積田電業社	立田 正三郎
(株)電成社	小林 貴一
(株)東電工業社	中谷 由紀
(株)中村電気	砂戸 和義
中村電設工業(株)	高橋 大輔
那須電機工業(株)	矢作 拓也
(株)万代電気工業	関根 裕也
松山電設(株)	篠田 裕貴
(株)明電社	間 祐太
(株)八洲電業社	大場 勇
(株)ヤマト・イズミテクノス	藤波 和也

(優秀技術者部門) 3名

会 員 名	被表彰者名	対 象 工 事 名
松山電設(株)	岡 部 健	26県住入間霞川団地第3工区電気設備工事
(株)長井電機	吉谷 鉄太郎	16熊谷工業高校教室棟ほか全体改修及び格技場耐震電気設備工事
(株)積田電業社	神 藤 文彦	中川流域処理場1号自家発電機直流電源装置ほか電気設備改築工事



受賞した優良従業員の皆さん



「彩の耀」に寄せて



志木市市長

香川 武文

「彩の耀」第184号の発行を心からお喜び申し上げます。

一般社団法人埼玉県電業協会の皆さまにおかれましては、日頃から電気設備産業の適正な運営と健全な発展にご尽力賜り、社会生活の安定と社会福祉の向上にご貢献をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。

志木市は、首都近郊25km圏内の距離にあり、都心まで20分という交通の利便性に恵まれた立地であり、さらに市の中心に新河岸川と柳瀬川、東には荒川という3本の川が流れる、水と緑、人と自然が調和した人口約76,000人の住宅都市として発展しております。2017年に日経BP総研が調査した、「人口増加の勢いがある自治体」ランキングにおいて、志木市は全国1896団体のうち14番目に選ばれており、この勢いのまま、活力を維持していきたいところではありますが、少子高齢化が進み、生産年齢人口が減少しているのも現状であります。来年4月末には、31年にわたる「平成」の幕が閉じ、日本の新しい時代が始まる大きな転換期を迎えます。

また、2年後の2020年は、東京オリンピック・パラリンピックが開催される年であり、時を同じくして本市は市制施行50周年という大きな節目を迎えます。

このような歴史的な時を迎えるにあたって、志木市を将来の世代にしっかり引き継げるよう、さらなる飛躍と発展を遂げるため、「市民の健康づくり」「子育て世代定住」「暮らしやすさ向上」「魅力発信」の4つの戦略を軸にまちづくりを進めてまいります。

特に今年度は、保育園と小学校が連携する新しい形の認可保育園を整備するほか、志木市が全国に先駆け制定した「元気に育つ志木っ子条例」に基づき、子どもたちがインターネット等を利用するにあたり、犯罪やトラブルに巻き込

まれることを未然に防ぐための適切な利用に関する講演の実施、相談窓口の開設など、安心して子育てができる環境をつくり、住んでみたい、住み続けたいと思えるような魅力的なまちを目指します。

また、本市は、都市構造、交通、エネルギー、みどりの各分野の低炭素化を目指した「志木市低炭素まちづくり計画」を平成26年7月に策定しており、その中で、道路照明灯のLED化は二酸化炭素の排出量の削減に有効な施策として位置付け、志木市が管理する約2,000灯の道路照明灯を、民間企業のノウハウ・資金・技術力を活用したリース方式による道路照明灯LED化事業を実施しているところであります。

また、市庁舎については、耐震性能が不足していることから、新庁舎建設を進めており、今年度は人工地盤の建設、来年度から現庁舎の解体工事、新庁舎の建設工事を開始いたします。志木市の面積は9.05km²と全国で6番目、県内で2番目に小さい市ですが、小さなまちの特徴と市民力が活かせる、華美や無駄を省いた充実した機能が確保された「スマート」で「コンパクト」な志木市らしい庁舎の建設を行ってまいります。建設にあたっては、太陽光発電設備の導入や昼光センサーでの自動調光など、環境に配慮した造りを目指します。

今後におきましても、限られた資源の中で、多様化するニーズへの対応と効率的な行政運営を両立させるため、時代の変化に即した継続的な市役所改革を推進し、志木市の質と価値を高める市政運営に邁進してまいりますので、皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人埼玉県電業協会の益々のご発展と会員皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、ご挨拶といたします。

1級受験 準備講習

6日間コースで集中的に徹底指導

事業
主要

4月11日、18日、25日、5月9日、16日、30日の6日間、1級電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会（学科コース）を開催しました。講師はケイ・教育企画サポート事務所代表の小泉一夫氏。参加者は試験突破を目指し、カリキュラムに沿った講義や模擬試験に臨み、勉強するポイントについて指導を受けました。

小泉氏は「仕事をしながらの受験準備のため、両立しなければなりません。学科試験まで2カ月あります。時間を掛けて準備してくれば大丈夫。間違いなく合格できます」と激励しました。

初日はまず、資格・検定試験の内容、効果的な学習方法などガイダンスを指導。引き続き施工計画についての講義を実施。個別指導に活用するため前段で模擬試験を行い、実力を把握した上で各

自が学習方法を確認しました。

2日目以降は工程管理、品質管理、安全管理、建設業法などについて学び、模擬試験の採点・評価・解説の順に指導を受け、個別学習指導、質疑応答などを実施。出題範囲や傾向を探り、試験にあたっての諸注意事項や心構えなどについても指導を受けました。

同時期に熊谷会場でも6日間コースの講習を実施。当協会では講座を毎年開いており、ここ数年、受講者の合格率は学科、実地ともに平均を上回っています。



試験突破を目指し熱心に受講

第二種受験 準備講習

効率良くポイントを学ぶ

事業
主要

4月23日、5月7日、14日、21日の4日間コースで、本試験に向けた第二種電気工事士試験受験準備講習会（筆記コース）を開催しました。講師はSEEDO代表の関根康明氏。参加者は皆、合格の栄冠を勝ち取るため、真剣な面持ちで受講していました。

合格を確実なものとするため、講習会では初めて電気を学ぶ人にもわかりやすく、出題頻度の高い問題を中心に、効率良く暗記できるポイントが解説されました。

1日目は一般用電気工作物の保安・法令、配線の種類と工事方法などについて学習。2日目は配線図から学ぶ測定器・電気の通り道など、3日目

はしゅん工検査と指示電気計器、配電理論などについて学びました。最終の4日目は単相交流と三相交流・誘導電動機など電気の基礎理論を習い、過去の筆記試験問題を解き、傾向を探りました。

試験を前に基礎的な知識を身に着ける貴重な機会として、受講者も自覚を持って臨んでいたようです。

なお筆記合格者を対象とした技能コースの講習会は7月に2日間コースで行われました。



出題頻度の高い問題を中心に解説

フォローアップ 研修

定着率向上へ人間力磨く 中堅技術者フォローアップ研修

事業
主要

6月20日、21日の2日間、講師にM&MC合同会社代表の國實誠氏と元東京電気技術高等専修学校校長の菊地潔氏を招き、さいたま市南区のヘリテイジ浦和別所沼会館で、中堅技術者フォローアップ研修を実施しました。

初日の講師を務めた國實氏はコの字に机を並べ替え、全員に同じ質問を問いかけることで集中力を切らせずに指導。「会社や現場で最も重要なことはコミュニケーション。人間力を磨くことが大切です」と、部下育成の重要性などについて、自ら考え、発信し、行動して何かを残す一連の流れで答えを導いていく方法論を実践しまし

た。

2日目は現場代理人の業務、建設業法と現場代理人、現場での管理業務、施工計画、工程管理、安全管理などについて学んだほか、現場での失敗事例から良い施工・悪い施工、これからの電気工事業などについて指導を受けました。

研修後は各自に修了証が手渡されました。



部下への指導法などを学んだ

協会運営が新体制になりました

総会終了後の理事会互選により、以下のとおりに役職が決まりました（敬称略）。

役 職 名	会 員 名	代 表 者
会 長	(株)岡村電機	岡村 一 巳
副 会 長	(株)電成社	山 口 裕
副会長・東部支部長	(株)大広電気	熊 田 弘 信
副 会 長	相馬電業(株)	古小高 収
副 会 長	埼玉電設(株)	川 合 昭
常 任 理 事	熊谷電機(株)	小林弥寿弘
理事・総務委員長	内山電設(株)	内 山 祥 章
南部支部長	(株)橋本電工	橋 本 幹 男
理事・企業対策委員長	(株)市之瀬電設	市之瀬正靖
理事・技術研究委員長	(株)市之瀬電設	市之瀬正靖
西部支部長	(株)積田電業社	積 田 優
理事・事故防止対策委員長	(株)積田電業社	積 田 優
さいたま支部長	(株)躍進電気	矢 嶋 博 和
理事・広報委員長	(株)躍進電気	矢 嶋 博 和
北部支部長	佐野電機(株)	佐野雄一朗
理事・人材育成委員長	佐野電機(株)	佐野雄一朗
理事・総務副委員長	(株)八洲電業社	吉 村 光 司



新旧役員で記念撮影

理事・企業対策副委員長	ニチデン 技術サービス(株)	箕 輪 栄 治
理事・技術研究副委員長	(株)イトラスト埼玉	山 本 和 利
専 務 理 事	一般社団法人・ 埼玉県電業協会	荒 川 清 江
監 事	(株)おぎでん	荻 野 勝 治
監 事	那須電機工業(株)	相 馬 宏 彦

全体会議を開催 委員会事業など決定



岡村会長

6月19日、総会での新役員選任後初の全体会議を建産連研修センターで開き、今年度の各委員会活動について検討・確認しました。

会議冒頭、岡村会長は「会員企業の人材確保育成を手助けするため、資格取得による技術向上で若手の定着につながればと考えています。また行政に我々の声を届けることが重要です。数は力という言葉もあり、ぜひ皆さまには仲間となる企業を推薦していただければと思います」とあいさつしました。

当日は各支部会議を開いた後、会員の所属委員

会を決めた上で各委員会を開催。今年度の活動方針・計画などを話し合い、順番に委員長が年間事業について発表を行いました。

総務委員会（内山祥章委員長）は働き方改革に関わる勉強会などについて意見を交換。企業対策委員会（橋本幹男委員長）は企業対策セミナー、フォローアップ研修などについて。技術研究委員会（市之瀬正靖委員長）は認定講習や受験準備講習などについて。事故防止対策委員会（積田優委員長）は安全大会と災害実働マニュアル作成などについて。広報委員会（矢嶋博和委員長）は広報誌発行、会員名簿作成などについて。人材育成委員会（佐野雄一朗委員長）は業界説明会の開催などについてそれぞれ話し合いました。

支 部 紹 介



さいたま支部



東部支部



西部支部



南部支部



北部支部

新委員会構成は以下のとおりになります。

[総務委員会]

委員長	内山電設(株)	内山 祥章	
副委員長	(株)八洲電業社	吉村 光司	
委員	新生電気工事(株)	竹島 芳茂	(株)ヤマト・イミテックス 岡部 幸夫
	(株)大久保電気	大久保修蔵	佐野電機(株) 佐野雄一朗
	太洋電設工業(株)	浅子さゆ美	イーテクノ(株) 久保田 努
	(株)中村電気	中村 正	(株)栗原電機 栗原二三子
	(株)北産電設	金子 圭	(株)東電工業社 小椋 安夫

[技術研究委員会]

委員長	(株)市之瀬電設	市之瀬正靖	
副委員長	(株)イートラスト埼玉	山本 和利	
委員	大塚電設(株)	大塚 薫	飯島電器工事(株) 飯島 敦子
	中村電設工業(株)	中村 康宏	フジヤ電気工事(株) 柴崎 弓弦
	島村電業(株)	島村 典泰	(株)佐久間電設 佐久間直人
	(株)新電気	西藤 新	(株)田部井電気 田部井惣次
	(株)高岡電気工業	高岡 武	(株)早川電工 早川 隆治

[広報委員会]

委員長	(株)躍進電気	矢嶋 博和	
副委員長	松山電設(株)	新井 雅志	
委員	浦和電気工事(株)	石川 健一	(株)奥富電気工事 稲川 晴行
	瑞穂電設(株)	郡司 欣則	釣谷電機(株) 釣谷 友久
	野口電気工事(株)	野口 忠男	(株)沼尻電気工事 沼尻 裕之
	深井電気(株)	深井 正美	
	(株)大庭電気商会	大庭 正巳	
	(株)三共電気商会	井上 則文	
	(株)まつもと電機	石田 太平	

[企業対策委員会]

委員長	(株)橋本電工	橋本 幹男	
副委員長	ニチデン技術サービス(株)	箕輪 栄治	
委員	旭電気工業(株)	北見 賢司	高山電設工業(株) 阿部 憲夫
	(株)万代電気工業	三角喜久治	霜田電気(株) 霜田 五郎
	(株)内田電気商会	田村 盛良	中外電気工業(株) 横山 利和
	(株)岡島電気商会	岡島 光孝	(株)長井電機 長井 真理
	熊田電気工事(株)	熊田 武民	

[事故防止対策委員会]

委員長	(株)積田電業社	積田 優	
副委員長	(株)明電社	吉野川裕之	
委員	竹内電気(株)	竹内 光男	三位電気(株) 佐藤 仁
	(株)三進電気工事	矢部二治男	(株)エコー 逸見 興世
	(株)弓木電設社	弓木 裕一	共和電機(株) 山根 義法
	(株)関根電気商会	関根 敏郎	ムサシ電機工業(株) 吉田 秀幸
	橋電(株)	橋本 剛	

[人材育成委員会]

委員長	佐野電機(株)	佐野雄一朗	
副委員長	(株)北産電設	金子 圭	
委員	大塚電設(株)	大塚 嵩之	(株)市之瀬電設 市之瀬正靖
	埼玉電設(株)	川合 昭	橋電(株) 橋本 勉
	(株)積田電業社	積田 優	フジヤ電気工事(株) 柴崎 弓弦
	中村電設工業(株)	中村 康宏	(株)明電社 吉野川裕之
	島村電業(株)	島村 典泰	内山電設(株) 内山 祥章
	(株)大広電気	熊田 秀明	熊谷電機(株) 小林 慶弘
	飯島電器工事(株)	飯島 将史	

総務委員会



企業対策委員会



技術研究委員会



事故防止対策委員会



広報委員会



人材育成委員会



熊本地震から2年、復興支援で被災地巡る 地元協会と意見交換

6月7日、8日の2日間、2年前に発生した熊本地震の被災地を巡る復興支援視察会で熊本県を訪れました。初日は熊本市中央区の電設会館で地元の熊本県電設業協会と意見交換会を開催。熊本県協会からは、大きな爪痕を残した震災による被害の実情について話していただき、教訓として生かすため、相方の災害対策の現状について議論いたしました。

当協会からは岡村会長、熊田副会長、古小高副会長、川合副会長ら12人が参加。熊本県協会の岩崎裕会長、三宅信彦副会長、穴井憲義理事、左座真治総務委員長、永野廣勝技術委員長、村上洋幸事務局長に應對していただきました。

岡村会長は「東京周辺を直撃する首都直下地震が高い確率で発生すると言われています。災害に遭った場合にどのように対処すればいいのか勉強させてほしい」とあいさつしました。

岩崎会長は「熊本では大きな地震は起こらないと思っていましたが、考えが変わりました。いつどこで発生するか分からない状況で、常に災害に備えておく必要があるということです」と話しました。

引き続き熊本県協会が地震発生後に熊本市から要請があった道路照明灯緊急点検などの状況を報告。災害時における会員への連絡体制構築・強化の重要性などを訴えました。

業界の現状については「長年の懸案で全国的な問題でもあります。技術者、技能者の高齢化や若年入職者の減少などで業界を支える人材が不足してい

ます。緊急の課題はやはり後継者育成・確保にあります」などの意見が出されました。

同じ業界の仲間として早い復興を願う気持ちを胸に、一行を代表して岡村会長が義援金を贈呈。岩崎会長は「埼玉県電業協会の温かい気持ちを感じました。大切にに使わせていただきます」と感謝の言葉を述べられました。

意見交換後は修復中の熊本城を見学。翌日は益城町の仮設住宅、改修を行っている阿蘇神社などを訪れました。途中、東海大学農学部の開鎖された阿蘇キャンパス周辺に寄った際、学生がいなくなって閑散とした山合いに冷たい雨が降り、当時の悲しみが伝わってくる思いに心が痛みました。

今、崩れた箇所から数百メートル移し2020年を目途に橋を建設しているところです。再び若者の声が響く場所に帰ることを望み、その地を後にしました。

2日間という短い行程ではありましたが、多くのことを学び、また考えさせられた復興支援視察会でありました。



岡村会長が岩崎会長に義援金を贈呈



修復中の熊本城を見学

「ヒトとカネ」テーマに経営学ぶ 企業対策セミナー

5月11日、さいたま市南区の建産連研修センターで、浦和公共職業安定所（ハローワーク浦和）の学卒ジョブサポーターの安藤知子氏と、(株)Nomoto Consulting代表取締役の野本理恵氏を講師に迎え、企業対策セミナーを開催しました。中小企業が抱える『ヒトとカネ』をテーマに問題に向き合い、自社の経営の参考としました。

岡村会長は共同でセミナーの準備にあたった人材育成委員会と企業対策委員会の各委員にお礼を述べた後、25日に開かれる総会について触れ「理事の新旧交代が予想されます。会員の皆さんから忌憚のないご意見をいただき、その結果、私たちの気持ちが一つになれば」とあいさつし、講師を紹介しました。

安藤氏は「企業を選ぶ理由はやりたい仕事かどうかが不動の1位。やりがいがあることでどれだけ将来性があるかを求人票に書き込むことが大事。企業を辞めて再就職するときに求めるものは研修制度がしっかりしているか」などと話し、求人は出し続けることが重要で、なにより保護者の目線で考えることと先生の気持ちをつかむことを優先すべきと伝えました。

野本氏は『中小企業経営のおさえるべき「ヒト」と「カネ」～貸借対照表から見える、未来からの逆算経営～』と題し講義。

借金頼りにならないよう、バランスシートから利益目標を立て、数字を分析することで自社の10年後から逆算して経営することが重要と結論付けました。



安藤氏



野本氏



重要なテーマに熱心に耳を傾けた

西部支部海外研修について

(研修期間と場所) 平成30年4月19日～4月22日
マレーシア、首都クアラルンプール

(株)電成社 山口 裕団長、(株)市之瀬電設 市之瀬 正靖、相馬電業(株) 古小高 誠
(株)まつもと電機 蛭名 幸司、(株)明電社 吉野川 裕之、(株)中村電気 中村 安男

今回の海外研修は、西部支部有志6社でマレー半島南部のマレーシアの首都クアラルンプールへ4月19日から2泊4日の日程で実施しました。

クアラルンプールは日本から直線で約5,200kmの距離にあり、空路ではおおよそ7時間ほどかかります。日本との時差は1時間で気候は亜熱帯気候。一年を通して28℃くらいの温暖な地域です。

人口はおおよそ3千万人でマレー系、中国系およびインド系等で構成される多民族な国家です。

今回の研修では移動に際しそのほとんどが現地タクシーやモノレールを活用したため、車窓からみえる景色の中から高層・超高層建物の建設現場がみえない事がないほどの活況ぶりでありました。

もちろん現地2泊のスケジュールのため、視察範囲が都市部に限定されていたことを割り引いても、これ程までに目視できる建設活動状況は壮観ともいえ、先進国目前のこの国への自らの認識を改めると共に、現地で自らが体験しなければわからない熱を感じられたのは大きな収穫となりました。ただ以前とは違い大型建設現場はそのほとんどを中国企業が占有し、日本国内企業のロゴマークはほとんど見当たりませんでした。他業界でも

そうであるように、建設業でも日本企業が受注競争になかなか勝利できないことを目の当たりにしたと思います。

今回マレーシアの街・人々が活気に満ち溢れ新たなステージへ向かっていくさまを直接に感じながら、団長ほかメンバーと共に感想や多様な意見を交わし、親交を深める良い機会となりました。

最後に今回の海外研修に参加でき、それを感謝するとともに山口団長、市之瀬さん、古小高さん、蛭名さん、吉野川さんに深く御礼申し上げます。

またの機会があることを楽しみにしております。
文筆 中村安男



安全衛生教育

職長・安全衛生責任者対象に 役割や教育方法学ぶ

5月22日と23日の2日間、建産連研修センターで職長・安全衛生責任者教育を実施しました。講師は初日が特定社会保険労務士の浜浩子氏、2日目をケイ・教育企画サポート事務所代表の小泉一夫氏が務めました。

初日はまず職長・安全衛生責任者の役割、作業手順書の作成、作業員の適正配置、危険予知活動とリ

スクアセスメントの方法などについて学び、場面によってはグループに分かれて討議を行いました。

2日目は作業員に対する指導および教育方法、ミーティングや現場巡視など責任者が行う安全施工サイクル、関心の保持と創意工夫を引き出す方法、異常時・災害発生時における措置などについて学びました。

安全確保へ危険性学ぶ 低圧電気取扱者特別教育

6月21日、22日の2日間、低圧電気取扱者特別教育を行いました。労働安全衛生法に基づくカリキュラムに沿って関係法令や基礎知識、絶縁保護方法、休電計画書作成などについて指導を受けました。

感電災害による死亡者数は高温多湿な6月から9

月に多発します。一般作業員にとって高圧電気よりも取り扱う機会が多いことから、低圧電気による事故の方が多い傾向にあります。安全の確保、事故防止には絶縁用保護具の着用、停電作業の徹底など基礎的な知識の積み重ねと確実な実行が重要です。

電業協会今後の【行事予定】

埼玉県電業協会では、毎年2回の技術講習会を行っています。この講習会へは、官公庁の技術職の方へもご通知し、最新の電気設備に関する技術の習得のため、学んでおります。ご興味のある方は、是非ご参加いただきますようお願いいたします。

行事内容	日程
第1回技術講習会	8月1日
第2回企業対策セミナー	8月6日
災害復旧対策講習会	9月上旬
会員大会	11月9日～10日

協会のうごき

4月

6日 新年度官庁挨拶回り
11日 第1回事故防止対策委員会
13日 第1回企業対策委員会
17日 第1回加入促進特別委員会
第1回理事会
26日 第1回人材育成委員会
27日 決算監査

5月

8日 第2回理事会
11日 第1回企業対策セミナー
17日 第1回総務委員会
25日 第3回理事会
平成30年度定時総会、第4回理事会
総会懇親会及び優良従業員表彰

6月

2・3・9日 1級電気工事施工管理技術検定試験直前勉強会

7・8日 熊本地震復興支援視察会
13日 あと施工アンカー講習会
19日 第5回理事会、全体会議

7月

4日 安全大会、第2回事故防止対策委員会
12日 県営住宅消防点検説明会
17日 第6回理事会、役員退任慰労会・収益事業報

建設産業担い手確保・育成事業／埼玉県認定職業訓練

新入社員研修	4月3・4・5日
1級電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会(学科コース・熊谷×6回)	4月7・14・21日、5月12・19・26日
1級電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会(学科コース・さいたま×6回)	4月11・18・25日、5月9・16・30日
第二種電気工事士試験受験準備講習会(筆記コース×4回)	4月23日、5月7・14・21日
職長教育	5月22・23日
酸素欠乏・硫化水素危険作業取扱者技能講習	6月4・5・6日
石綿作業主任者技能講習	6月14・15日
中堅技術者フォローアップ研修	6月20・21日
足場の組立て等作業主任者技能講習	7月5・6日
第二種電気工事士試験受験準備講習会(技能コース×2回)	7月10・11日
消防設備士甲種4類受験準備講習会	6月18・25日、7月2日
低圧電気取扱者特別教育	6月21・22日
高圧・特別高圧電気取扱者特別教育	7月19・20日

(一社)埼玉県電業協会会員

支部長◎ 副支部長○

さいたま支部 (12社)

旭電気工業(株)(大宮区)
浦和電気工事(株)(南区)
○大塚電設(株)(浦和区)
(株)岡村電機(緑区)
埼玉電設(株)(中央区)

新生電気工事(株)(見沼区)
竹内電気(株)(岩槻区)
◎(株)積田電業社(浦和区)
中村電設工業(株)(岩槻区)
(株)万代電気工業(桜区)
瑞穂電設(株)(北区)
○(株)八洲電業社(北区)

東部支部 (12社)

(株)内田電気商会(久喜市)
(株)大久保電気(越谷市)

(株)三進電気工事(上尾市)
島村電業(株)(上尾市)
(株)新電気(三郷市)
◎(株)大広電気(八潮市)
太平洋電設工業(株)(越谷市)
(株)高岡電気工業(松伏町)
ニチデン技術サービス(株)(北本市)
野口電気工事(株)(越谷市)
○深井電気(株)(北本市)
(株)弓木電設社(白岡市)

西部支部 (18社)

○飯島電器工事(株)(川越市)
◎(株)市之瀬電設(志木市)
(株)大庭電気商会(川越市)
(株)岡島電気商会(川越市)
(株)おぎでん(川越市)
熊田電気工事(株)(狭山市)
(株)三共電気商会(和光市)
(株)関根電気商会(川越市)
相馬電業(和光市)
(株)電成社(川越市)
(株)中村電気(新座市)
○橋電(株)(所沢市)
(株)橋本電工(所沢市)
フジヤ電気工事(株)(川越市)
(株)北産電設(所沢市)
(株)まつもと電機(和光市)
(株)明電社(川越市)
(株)ヤマト・イズミテクノス(ふじみ野市)

南部支部 (9社)

◎内山電設(株)(川口市)
(株)奥富電気工事(川口市)

(株)佐久間電設(川口市)
佐野電機(株)(川口市)
三位電気(株)(川口市)
高山電設工業(株)(川口市)
(株)田部井電気(川口市)
釣谷電機(株)(川口市)
○那須電機工業(株)(川口市)

北部支部 (15社)

イーテクノス(株)(熊谷市)
○(株)イトラスト埼玉(行田市)
(株)エコー(深谷市)
共和電機(株)(秩父市)
熊谷電機(株)(熊谷市)
(株)栗原電機(深谷市)
霜田電気(株)(皆野町)
中外電気工業(株)(深谷市)
(株)東電工業社(熊谷市)
(株)長井電機(熊谷市)
(株)沼尻電気工事(深谷市)
(株)早川電工(鴻巣市)
松山電設(株)(東松山市)
ムサン電機工業(株)(行田市)
◎(株)躍進電気(深谷市)

〔さいたま市〕



新入社員研修会で若手の教育をサポート

4月3日から5日までの3日間にわたり、新入社員研修会を建産連研修センターで開催しました。参加者は29人。初日は井島鈴子氏が「ビジネスマナーの基本と社会人意識」について、残り2日間はケイ・教育企画サポート事務所代表の小泉一夫氏が「労働安全衛生法に基づく雇入れ時安全衛生教育」を指導しました。

一企業では難しい初期重点教育をバックアップすることで、社会人として第一歩を踏み出す新人をサポート。内容の濃い研修を集中的に行うことで、会員企業に入社したての若手の教育を手助けしています。

開講式では岡村会長が「石の上にも3年」と言います。最

終的には皆さんが選んだ仕事ですから、多少の困難は乗り越えて、それぞれの道を切り開いていただきたいと思います」とエールを送りました。

最終日の閉講式では共に学んだ全員に修了証書が授与されました。



会員企業の新入社員29人が参加